

モニタリング分析の結果（8/5）

1 感染状況

<総括コメント（4段階）>



感染が拡大していると思われる



感染が拡大しつつあると思われる



感染拡大の兆候があると思われる



感染者数の増加が一定程度にとどまっていると思われる

2 医療提供体制

<総括コメント（4段階）>



体制が逼迫していると思われる



体制強化が必要であると思われる



体制強化の準備が必要であると思われる



通常の体制で対応可能であると思われる

コロナ専用病院（旧都立府中療育センター）

施設所在地

- 府中市武蔵台2-9-2（旧都立府中療育センター施設）

規模及び対象者

- 約100床
- 新型コロナウイルス感染症の中等症程度以下の方

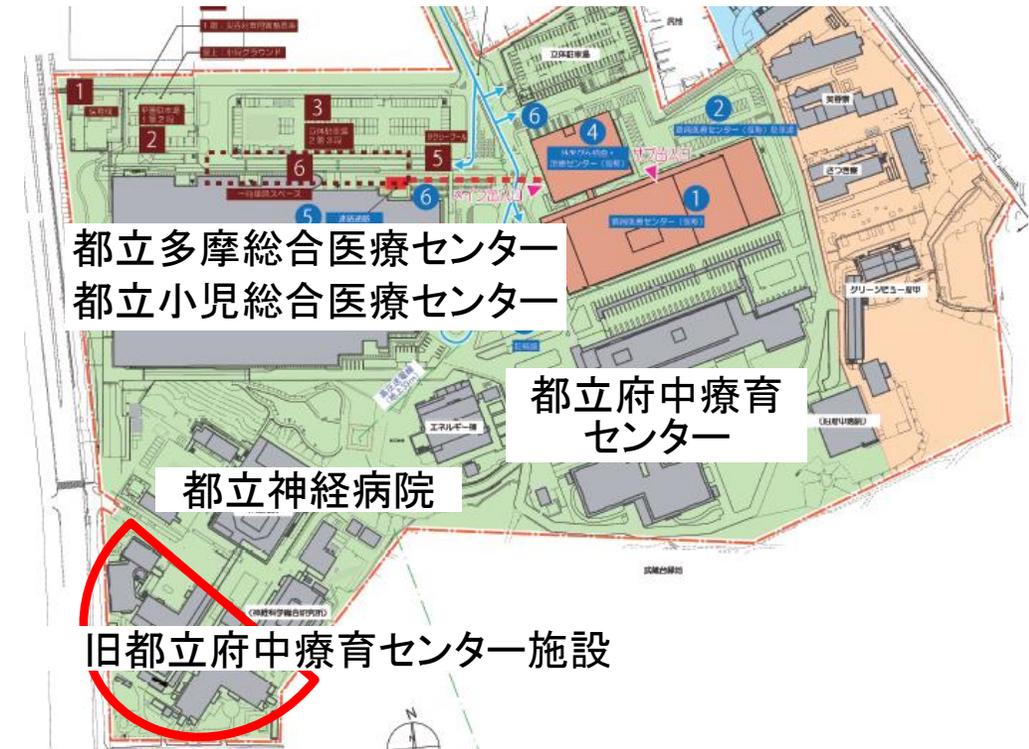
開設時期

- 10月中を目途に必要な改修工事等整備を行い、完了後速やかに運営を開始

運営体制

- 都立・公社病院で運営

＜多摩メディカル・キャンパス施設配置図＞



コロナ専用病院・専用病床



営業時間短縮に係る感染拡大防止協力金の申請について

制度概要

対 象：要請に応じて、朝5時から夜22時までの間に営業時間を短縮する

「酒類の提供を行う飲食店」・「カラオケ店」

支給額：一事業者当たり、一律20万円（複数店舗の場合も同額）

スケジュール

【受付要項公表】 8月26日（水）

【申請受付期間】 9月1日（火）～30日（水）

【緊急募集】離職者等の非常勤職員採用

○任用者数：30名程度

○募集期間：随時募集

○任用期間：任用の日～令和3年3月31日

※詳細は東京都総務局HPで

東京都 総務局

検索

伊豆諸島の航路・航空路における感染拡大防止対策について

実施内容

- 小笠原諸島に続き、伊豆諸島でも「感染リスクをお知らせするサービス」を導入
 - ・ 伊豆諸島への定期便（船舶・航空機）の乗客を対象にしたサービス
 - ・ 同乗者に感染情報があった場合、事前にQRコードを活用して登録されたメールアドレス宛に通知

開始日

- 令和2年8月12日（水） 竹芝客船ターミナル、調布飛行場 発の便
 - ⇒ 今後、順次、伊豆諸島の都営空港、船客待合所等に拡大予定

小笠原村における感染拡大防止対策について 【PCR検査（試行）の実施】（1/4）

○小笠原村は本土から約1,000km離れ、おがさわら丸が唯一の交通手段
⇒ **水際対策が重要**

○現在は乗船前の検温による感染拡大防止対策を実施
⇒ **無症状者への対応が必要**

試行内容・効果

- ①唾液を採取したのち乗船、PCR検査実施
- ②検査結果を船内に通知
- ③船内で陽性反応者(無症状)等を早期隔離



船内及び島内の
感染拡大防止効果

小笠原村における感染拡大防止対策について 【PCR検査（試行）の実施】（2/4）

試行の流れ

※竹芝発父島便を対象

竹芝客船ターミナル

小笠原(父島)

8:30

受付開始

検体(唾液)採取

検体搬送

PCR検査

検査結果を船内に通知

11:00

検温・乗船

出航



(万が一、陽性反応があった場合)
陽性反応者等を船内で隔離

感染拡大防止効果

翌日11:00

到着・下船

陽性反応者等に
速やかに対応

小笠原村における感染拡大防止対策について 【PCR検査（試行）の実施】（3 / 4）

試行内容の検証

- ☑ 検査処理能力の把握、全員検査へのルール作り
 - ・ 検査手順、所要時間の確認

今後の進め方

試行内容を検証し、関係者との調整・検討により更なる水際対策の強化

小笠原村における感染拡大防止対策について 【PCR検査（試行）の実施】（4/4）

参加機関

国立国際医療研究センター、小笠原海運株式会社、
新型コロナウイルス検査センター株式会社(ソフトバンクグループ)、
小笠原村、東京都

開始日（おがさわら丸出航日）

令和2年8月11日(火)から 竹芝客船ターミナル

この夏は「特別な夏」

「旅行や帰省」を控えましょう
「夜間の会食」を控えましょう
「遠くへの外出」を控えましょう